

活動名		団体名	長門市中央公民館運営協議会「子どもクラブ」担当
地域で育てる地域の子どもたち ~運営協議会の新たな試み 子どもクラブ~		地域	山口県長門市
		代表者	長門市中央公民館運営協議会会長 石井 恒之
		支援金額	25万円
活動概要	<p>「わくわく土曜塾」では、開始当初より貴財団からご協力をいただき、7年目を迎えた。地域で知名度も上がり、活動形態も地域に定着しつつある。そのため、2014年度ではわくわく土曜塾の活動に加え、「子どもクラブ」を新たに立ち上げた。わくわく土曜塾では「体験」に主眼を置いているが、「子どもクラブ」では年間を通して地域の子ども達に講座を開催し、「生涯の趣味と出会う」きっかけづくりを目的とした。子どもは異年齢・異世代の大人とかかわることで、今求められているコミュニケーション能力の向上が図られ、指導者においては若者呼び込み、リーダー研修の場を提供しつつ、自分の学びを次世代へ伝えるという効果がある。また、地域の大人と子どもが顔見知りになることは、防犯面・地域活性化等においても大きな効果をもたらす。クラブの知名度を上げるため、夏休みに「夏休みおたすけ講座」を7講座用意した。</p> <p>◆実施時期 2014年5月～2015年3月の第1土曜日 2014年7月8月の夏休み期間 長門市中央公民館、深川小学校体育館</p> <p>◆参加人数 囲碁14名 将棋7名 写真6名 語学19名 卓球16名 料理19名 手芸14名 6月(11) 7月(66) 8月(60) 9月(84)10月(49) 11月(50) 2月(56) 3月(57) 夏休みおたすけ講座:179名 感想文(59) 絵画教室(61) 囲碁将棋(11) キッチンでサイエンス(6) けん玉教室(15) 親子工作(19) 木工教室(8) 参加総人員:612名</p>		



「子どもクラブ」。地域の大人と子どもが顔見知りに



けん玉教室



親子工作



お料理教室

◆実施に伴う効果

手芸・写真 講師をすることで普段接点のなかった地域の子供たちと知り合いになれた、楽しかったと好評だった。次年度も引き続き講座を担当していただけることになっている。

卓球 講座開講が刺激となり、参加保護者の中からスポーツ少年団を立ち上げる動きへと発展した。

囲碁・将棋 同じ部屋で活動を行ったので、囲碁と将棋の受講生の相互交流ができた。市内で子どもたちが囲碁や将棋に触れる場所がないので、貴重な場所を提供している。

はじめての料理 保護者に好評で次年度も開設。受講生の半数が次年度も受講申し込みをしている。

夏休みおたすけ講座 今まで公民館に足を運ばなかった親子が参加してくれ、子どもクラブの存在を知ってもらいきっかけとして大いに有効だった。

◆苦労した点

同一時刻に複数のクラブを開催し、開設初年度で不慣れということもあり、事前にお世話をされる講師との連絡調整や各クラブで使用する道具の準備に苦慮しました。

また、どのような講座を子どもたちが望んでいるのかが手探りの状態であったために、以前にわくわく土曜塾で子どもたちに人気のあったもの、教える方が揃っているものを選び、様子を見ながら次年度以降に改善すべきところを見直していこうということで始めました。

そのようなこともあり、人気のあるクラブとそうでないクラブとの差が生じたり、初めの2～3回は来たもののそれ以降来なくなった子どもたちもいましたが、ある程度仕方がないことだと考えています。学校や地域の大人はたいへん協力的で、こちらから呼びかけをすれば、ほとんど喜んで参加していただきました。

途中から新規に入会する子どもたちも多く、生涯の趣味との出会いに貢献できればと考えています

◆今後の課題・発展の方向性

地域で学ぶ機会のない趣味について、公民館に集まる大人から学ぶことを基本にスタートしました。そのなかで卓球については、スポーツ少年団が新規に結成され、卓球をしたい子どもたちは自由に参加できる体制ができたため、子どもクラブとしての役割は終了したと判断し、「卓球」クラブについては解散することとしました。

一方で百人一首を学びたいという要望が多く出されたために、クラブとしてできないかを検討したところ、山陽小野田市から永世クイーン資格をもつ指導者に来ていただけることとなり、27年度から新規に「かるたクラブ」を開設することとしています。

人員や会場の確保が課題としてありますが、子どもたちのニーズや地域の状況に応じて、柔軟に対応していけるよう、より多くの地域の大人が参加し、クラブの自主財源のみで運営していける体制をつくっていきたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

子どもクラブという新規事業の開始に伴う備品購入や大会開催費用、学習成果発表にかかる経費について、資金が十分でないなか貴財団の支援により充実したものとすることができました。おかげさまで子どもたちも楽しみながら学習しており、次年度以降も継続できることとなりました。口コミ等で楽しさが伝わっているようで、次年度もたくさんの参加申し込みがありました。

ふだん家庭で親しむ機会が少ない趣味に出会うきっかけづくりの一助となることができました。